

看護師の離職予防のための看護管理者に求められるマネジメント
—職員満足度調査からの考察—

【 要 旨 】

ソーシャル・イノベーション研究科

ソーシャル・イノベーション専攻

2024年3月修了

江津 篤

【要旨】

看護師の離職率は年々増加傾向にあり、看護の質を維持するためには看護師の確保が必要である。この研究では、看護師を対象に職員満足度調査を行い、離職の要因を明らかにするとともに、看護師の離職予防のために求められる看護管理者のマネジメントについて考察した。先行研究では職員満足度調査が目的で、結果に対する対策や実践は行われていなかった。

しかし、マグネットホスピタルでは14項目のマネジメント実践により離職が予防され、日本ではアメーバ経営を導入して離職率や職員満足度の改善に成功した病院もある。経営理念の明示や部門ごとの目標設定、PDCAサイクルの実践を通じて、職員に経営者意識を植え付け、リーダーシップが発揮されていた。結論として、職員満足度からは離職の明確な要因を特定することは困難であったが、看護管理者に求められるマネジメントの指標としての可能性が示唆された。組織や課題に応じたマネジメントスタイルの適切な選択が重要である。